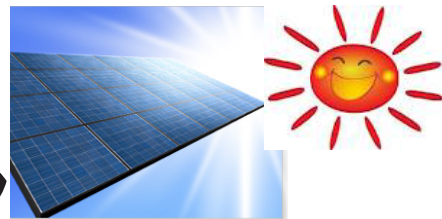


# あれ!これ! 知っ得情報

# 太陽光発電で、 快適&エコな暮らし



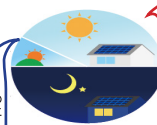
**自然のエネルギー**  
石油や石炭を使わないからCO2を出しません。



**今なら断然お得です!**

余った電気は、今なら北陸電力が1kwh42円で買い取ってくれます。

**朝は買電**  
まだ発電量が少ないため朝の準備に必要な電力には足りません。



**昼間は売電**  
発電量がアップします。消費量は少ないので余った電気は電力会社が買ってくれます。

**夜はお休み**  
太陽が沈むと発電は終了。今まで通り電気を買って使います。

もうすっかりお馴染みの地球にも家計にも優しい太陽光発電。しかし、価格の面でなかなか普及していませんでしたが、昨年の大震災以来、原子力の安全性や稼働問題もあり、再び注目されています。最近、当社にも太陽光発電の設置依頼や問い合わせが多くなりました。そこで、実際5月に設置した当社スタッフのH宅の施工をもとに、手続きから設置し稼働するまでの過程を報告したいと思います。

## ①まずは屋根の形状を診断し、見積りをします。



業者の人が現場に訪問し、現状の屋根の形状を見ます。複雑な形状の屋根や小さな屋根、大きな屋根など、それぞれの屋根でより多く発電し、より美しく設置できるよう提案し、見積りを提示します。方角としては、南向きの屋根が発電量は多くなるそうですが、東や西向きの屋根でも設置可能です。

<御見積例> 太陽電池モジュールを40枚(発電容量6.4kw)で約250万  
(\*屋根の形状によって異なります) 同じ製品 を25枚(発電容量4.0kw)で約180万

## ②補助金の申請をします。(※今年も4月から補助金の受付が開始しており、予算額に達した時点で終了となります。)

国+都道府県+市町村それぞれに申請し、許可がおりると補助金が支給されます。書類一式は設置業者が準備し提出してくれるので、記入と印鑑証明1通の用意でOKです。これで電気料金だけでなく初期費用も抑えることが出来ます。

<例> H宅(坂井市在住)が太陽電池容量6.24kwを設置した場合

国 35,000円/KW	福井県 24,000円/KW (*上限4kwまで)	坂井市 12,000円/KW (*上限4kwまで)	補助金合計
218,400円	+ 96,000円	+ 48,000円	= 362,400円

## ③工事開始



瓦屋根の場合、専用の金具と横棧を取り付け、太陽電池モジュールを設置します。その後、電気屋さんが屋内配線工事や分電盤、電力モニター、パワーコンディショナーの取付工事を行います。工期は約2~4日間で完了します。



## ④北陸電力さんの検査を受けます。



工事が完了したらすぐに北陸電力さんに検査に来てもらい、OKが出たら、売電の契約をします。

## ⑤ようやく発電開始



非常時の備えになるよ。



地震や台風などの災害で長期間停電になった場合でも、天候条件や時間帯によって制約はありますが、自立運転機能で非常用電源として電気を供給できます。専用のコンセントに使用したい電気製品を差し込めば、その時発電している分の電気を使う事が出来ます。

**H家の感想は・・・** 太陽光発電の設置については以前から検討していましたが、費用がかかる事からなかなか踏み出せませんでした。しかし、思いきって設置した今は、太陽が出ていると何だか嬉しくなり、つついモニター画面を見てしまい、どれ位発電しているのかとか、今日は電気使いすぎたかなと気にするようになりました。今後、結果報告します。